

LIOJ

企業人向け《合宿》英語特訓課程
(4週間泊まり込み集中教育)

1983年講座御案内
BUSINESSMEN'S
PROGRAM

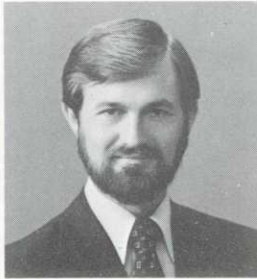


LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

LIOJ

世界に通用するビジネスマンの養成に

INTRODUCTION



P. Lance Knowles
(Director)

The increasing influence and business relationships of Japan have brought her into the international scene as a major power with global responsibilities. To this end, English, as the international language, has become a vital concern for the Japanese business and intellectual community.

We at LIOJ are dedicated to benefiting Japan and the international situation by teaching English in a way that facilitates successful communication and understanding. Our residential program, which brings together businesspeople and professionals from many of Japan's most important and successful companies, allows participants and faculty to come together as people rather than just as students and teachers. Much of the awkwardness that often accompanies interaction between Japanese and non-Japanese peoples is overcome during a typical four-week term at LIOJ, and in addition to developing the English and cultural skills that are necessary for doing international business, LIOJ participants are encouraged to learn how to use English for expressing their own personalities and ways of thinking. This is necessary if communication is to be anything more than a mechanical exchange of data.

LIOJ has been offering this 'English Only' residential program for the past fifteen years. We believe that it is through such a residential program that we can best serve the communication needs of those businesspeople and professionals selected by their companies for training at LIOJ. We are determined to do our best to continue serving the Japanese business community in this very important way.

校長略歴

米国カリフォルニア州出身、物理学と数学の研究で学位を取得後、カリフォルニア大学パークレー校にて、第二言語としての英語教育 (ESL) 専門家として実績を積み、ミシガン大学より Danforth Teaching Fellowship の称号を受けて教壇に立つなど米国各地で幅広い活躍を果たし、一方新しい教本も国際的に出版しております。

＝企業人向け《合宿》英語特訓課程の御案内＝

本課程は海外出張・海外駐在を予定している方や、日頃業務上で外国人と接する機会の多い方、及び職業柄特に英語を必要としている「ビジネスマン」のために企画された「英語」と「コミュニケーション」の特別集中講座です。

短期間に集中的かつ実践的な「特訓」を受けて英語力の飛躍的増強を図ると同時に、日本語社会から切り離された「英語オンリー」の環境に一定期間缶づめになるという、言わば、「ショック療法的

生活体験」を通して、表現の違い、発想の違いなど異なる文化に対する理解と適応力を養い、単なる英語の修得のみならず、コミュニケーションのひとつの道具として、より効果的な英語の活用方法を会得し激動する国際情勢に対抗しうる本格的国際ビジネスマンの養成を目的とします。

1983年で13年目を迎え、既に437を超える企業・団体から2760名を超える方々の参加をいただいております。

本課程の特色

①全寮制による集中教育 [English Only]

4週間の期間中は、仕事から完全に離れ、朝から晩まで Native Speaker と生活を共にし、授業時間ももちろん、日常生活のすべてを英語で行います。

②優秀な講師陣 [15名の Native Speakers]

英語を第二言語として教える学位 (ESL) を修得したエキスパートを中心に、経験豊富なキャラクターをそろえております。

③能力別少人数教育とバラエティーに豊んだ受講者

各回32名の定員を6～9名前後の能力別4クラス編成にしま

す。受講者は、新人から幹部に至るまで、事務・技術系を問わず、様々な立場の方が参加され、自由な雰囲気のコミュニケーション集団が形成されます。

④BUSINESS STUDIES

ビジネス関係資料や VTR を活用し、国際ビジネスの場で必要とされる実践的な指導を致します。

⑤CULTURAL INTERACTION

コミュニケーションスキルの体得と、ヒューマンリレーション・異文化理解への対応力を養います。

LIOJ

受講者推薦のことは

RECOMMENDATIONS



細金 久靖

(中外製薬株式会社)

昨今の日米・日欧関係は貿易不均衡による通商摩擦を生じ、大きな政治問題をかかえております。LIOJへ参加されようとする方々は、日本を代表する企業のビジネスマンが多く、何らかの形で日米・日欧の経済関係の接点に立っておられると思います。この摩擦を避けるためにはお互いの立場を理解し、尊重し合うことが何にも増して重要であり、最早日本人として何ら考えを持たずに国際人たり得ることは許されなくなっています。英会話の必要性を感じておられる皆さんにおいて「英語はあくまでも意志伝達の手段であって、目的は International Communication にあります」

この日本人としての事態認識と英語学習の目的を熱っぽく説かれるのが LIOJ のノールス校長であります。彼は日本を愛し、日本人に英語を教えることに情勢を燃やしている方です。毎週1回自ら教壇に立たれるか、あるいは外来講師を招き、日米欧の文化論を中心に特別講演を催します。これは毎日の授業にもきめ細かく生かされ、語学の上達と共に国際感覚が身につくよう配慮されています。これが LIOJ の理念であると思います。

講師は英語を第二言語として教える学位を修得した専門家を中心に米国、カナダ、インド、イラン人とパラエティーに富み、毎年400~500人の志願者の中から選ばれた精鋭揃いです。

授業内容はビジネスマン向きの実用会話が中心で、人の紹介の仕方から始まり、電話のかけ方、テープや VTR による listening の強化、meeting の進め方、そして presentation にいたるまで、短期間のうちにかなり高度な内容まで進みます。授業の他にカクテルパーティー、ディナー、ダンスパーティー等外国の生活習慣を同時に学ぶこともできます。時には講師達と小田原の町まで外出し、飲食を共にし、歌い語り合い、友人としてコミュニケーションすることもできます。

このように LIOJ はその生活を通じ、英語の上達はもちろんのこと、外国の文化をも理解することができる極めてユニークなところです。1日10時間、課外時間を含めると4週で200時間（これは1日2時間のレッスンを週5日実施したとして、約5カ月に相当）を越える授業はきつい面もありますが、効率面を考えると、むしろ合理的と言えましょう。4週の課程が終りに近づくと、生徒の目の輝いてくるのを私は感じました。彼等は全課程を終了した満足感と充実感を持ったからであります。

英語力を短期間に効率よく向上させたい方々にぜひお勧めしたいところ、それが LIOJ です。



山田 勝久

(清水建設株式会社)

夕刻催されるフェアウェルパーティーでは、ろうそくに灯がとり、ワインのコルクが抜かれ合宿訓練最終日の雰囲気をもりあげる。談笑するあい間にも、この4週間の様々な体験—授業中うっかり日本語を口走り頭をかきかき100円玉を広口ビンに入れた事、だいぶ重くなった中身をもって、クラス全員で下町に繰り出した事、プレゼンテーションで適当な題目が思い浮かばず、思案にくれた事—などをふと思い返す。正面中央に位置したノールス校長から修了証を授与され席に戻ると、担任だった教師がそと耳うちした。「今日は最終日じゃない。スタートだ。明日からも頑張れ」

LIOJ という別世界から、以前の生活に戻り、英会話を継続する難しさを考えた時、この言葉は重く胸にこたえた。

授業は能力別小人数クラス制をとり、一日のスケジュールは、午前中の英語基礎、午後は応用、そして夕方はビジネスへの実践と三部から構成され、経験豊富な教師により適確に進行する。積木や絵画を使っている授業では、事前に何故その様な学習をするのか、その狙いは何かなど詳細に説明をうけるのでとまどうこのもない。更にビデオカメラを駆使して授業を収録し、後刻生徒一人ひとりに教師から要を得たアドバイスがなされる。

私には、普通無味乾燥になりがちな LL の授業が特に面白く感じられた。朝8時30分 LL の授業開始時には、当日の新聞の記事が既に教師自らの声で録音テープに吹きこまれ、その内容を問う練習問題がタイプされ手渡される。テーマは毎日、政治、経済の堅いものからゴシップ記事に至る迄変化に富みあきる事がない。教師陣がいかに精力的に授業にとり組んでいるかを実感した。

週に一度はゲストを迎え、特別講義が催される。経済貿易摩擦、軍事費、文化、宗教、習慣など広い視野から世界の中の日本の俯瞰し、今後我々が国際社会でいかに活動していくべきか、熱っぽく語りかけられる。講演のあとでは質疑応答があり互いに心のふれあいを掴んでゆく。

私の勤務する会社では、「小田原帰り」といえば LIOJ 受講者をさす言葉となる程、英会話訓練の一環として定着している。国内出張と同じように、前日出張命令をうけ翌日出発する海外出張も日常のこととなっている状況で、英会話の能力を高め、異なる文化に接して坐折不い逞しい精神力を涵養する意味からも、LIOJ は現在我々が受け得る最良の英語教育機関といえるだろう。



日本語より英語の方がとっさに出る人も……

西山 千 (国際コミュニケーター)

英語をいっそう集中的に学習する方法として、英語国民と数週間合宿する方法がある。その例は、小田原の Language Institute of Japan (LIOJ) に見られる。LIOJ はアメリカ人の校長の下で若いアメリカ人が十人ないし十数人先生になっていて、そこに日本人研究生が数十人いっしょに泊り込んで、朝から晩まで英語だけで話をする。食事のときも読書についても英語で話し合う。教室ではもちろん英語である。(中略) LIOJ に参加して二週間ぐらい集中教育を受けると、人によっては日本語が簡単に出なくて、英語の方がとっさに出るようになる。それが一つの峠を越えた証拠だろうと思う。

「著書「英語のてこぼ道」より抜粋。(サイマル出版会)

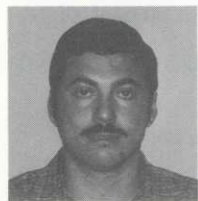
LIOJ FACULTY & STAFF

講師は毎年400~500名にも及ぶ志願者の中から書類選考ののち、校長が自ら毎年渡米し、各地で直接インタビューを行った上で、人格、能力ともに最もすぐれた学究を招へいしています。英語を第二言語として教える学位 (ESL) を修得した語学教育のエキスパートを中心に、LIOJ 受講者の要求に応える国際ビジネスに関係する様々な領域、事例等により広く対応するために、各分野からもすぐれた人材を全員フルタイム講師として採用しております。1983年度は16名の講師のうち12名が修士または同等の学位をもっていると同時に、経験豊富なキャラクターを揃え、各クラスに男女の講師を配置し、バラエティーをもたせております。

また LIOJ ではこれらの講師によって常に最高の指導を提供するための、効果的な教材、教授法の開発がなされるとともに、語学教育研究誌「Cross Currents」を編集、発行し、現在国内はもとより20ヶ国以上で愛読され好評をいただいております。また、数名の講師は英語教育教材、テキスト等を独自に開発し国際的に出版しております。LIOJ 講師陣の研究実績は日本はおろか世界的にもトップレベルの内容を誇っています。

これらの講師が並々ならぬ情熱をもって、授業時間はもちろん、食事、課外活動等を通し、時には教師として、時にはよき仲間として積極的に受講者に接し、話し合う機会をもつという、合宿制ならではのすばらしい教育環境を提供いたします。

FACULTY



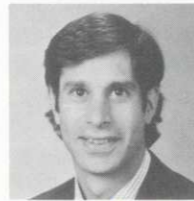
John Battaglia

M.A. English Literature, Univ. of Iowa; B.A. English, Montclair State College. Has taught E. S. L. in Malaysia, Japan, and is the co-author of a recently published E.S.L. textbook. Enjoys hiking, literature, and talking with people.



Jim Bergstrom

B.A. English and Speech, Pacific Lutheran University. Has taught English in Thailand and in Washington state, where he also supervised an English program. He enjoys languages, photography, and Asian cultures.



Andrew Blasky
Editor, Cross Currents

Ph.D. English Literature, Univ. of California, Berkeley; B.A. English Lit., Princeton Univ. Has taught English at Univ. of Calif. and spent eight months on the Navajo Indian Reservation in New Mexico, teaching English and working in the community.



Lori Brooks
Editor, Cross Currents

M.A. (TEFL) San Francisco State Univ.; B.A. French, Pitzer College. Has taught English at the Univ. of San Francisco, World English Center, and at Alemany Community College Center. Has lived in France and has travelled extensively in Europe.



Elizabeth Chafcouloff

M.A. Candidate (TEFL) S.F. State University; B.A. French, Regis College. Studied at Université de Provence, Institut pour étudiants étrangers in France and received certification in French grammar, translation, and literature. Has experience in Europe, Africa, and Mexico.



Vickie Christie

M.A. Speech and Communications, Univ. of New Mexico; B.A. Univ. of Montana. Has taught basic speech courses, business communications, and debate in the U.S. Has also worked as a union contract negotiator in Alaska and as a lobbyist at the Alaska State Legislature.



John Fleischauer

M.A. International Relations (Southeast Asia), Ohio University; B.A. Social Relations, Colgate University. His teaching experience includes five years in the U.S. Peace Corps in Thailand and Malaysia, and a year in Taiwan.



Michael Kleindl

M.A. TEFL, Southern Illinois University; B.A. German/Russian, Southern Illinois Univ. Has taught Russian, German, and English at S. I.U. He lived for two years in West Germany, and has travelled throughout Europe, including the Soviet Union.



Sheila McEnery

B.Ed. English and ESL, University of Toronto; Ontario Teacher's Certificate. Her teaching options were English and English as a Second Language (E.S.L.). She enjoys winter sports, reading, and playing the piano.



Elizabeth Neblett

M.A. Education (TESOL), Boston University; B.A. Human Services, Brown University. Has taught at the Center for English Language and Orientation, Boston University. Her interests include old movies, needlepoint, and music.



Derald Nielsen

M.A.T. (TESOL), School for International Training; B.S. Business Administration, Southern Utah State College. He was an accountant and auditor for a C.P.A. firm for four years, and his previous ESL teaching experience includes more than six years in Japan.



Robert Ruud-Pretebak
Academic Supervisor

M.A.T. (TESOL), School for International Training; B.A. English/Education, Coaching, Moorhead State University. He taught ESL and was a teacher trainer in Tonga (Polynesia). He has also taught Laotian refugees in the U.S.



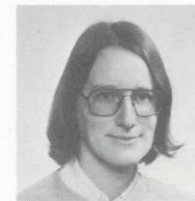
Ruth Sasaki

M.A. in progress, Creative Writing, S.F. State University; B.A. English Literature, Univ. of California, Berkeley. Has taught ESL in the U.S. at the Univ. of Calif., Berkeley, and has co-authored two ESL textbooks. Has also given teacher-training workshops in Japan and the U.S.



Thomas Smith
Editor, Cross Currents

M.A. in Law and Diplomacy, Fletcher School of Law and Diplomacy; B.A. Demography and Population Studies, Duke University. Has worked as a Research Assistant and also as an editor for the Fletcher Forum, a journal of foreign affairs.



Metha Bos
Community Program

B.Ed. Elementary Education, McGill University, Canada. Has taught ESL in Madagascar and Thailand as a C.U.S.O. Volunteer, and in Canada at both the high school and elementary levels. She is also interested in music, and has taught guitar and recorder.



OFFICE STAFF



Yoshiko Oguri

Nobuhito Seto

Atsuko Seto

LIOJ

《合宿》特訓課程の概要 CURRICULUM

本課程は、語学教育にとって理想的な TOTAL IMMERSION 方式を日本で唯一本格的に採用し、期間中は ENGLISH ONLY で全ての活動、生活をするビジネスマンのための「英語特訓プログラム」です。

各回とも、よりきめの細かい指導が行えるよう定員を32名におさえた少数徹底教育。さらに6～9名に分けた各クラスでは3名の担当講師が受講者の能力、業務上の要請に対応しうる様々な教授法、題材から最適なものを用いて指導にあたり、国際的ビジネスマンとしての英語力の増強、学習法の体得とともに、外国社会、文化、ビジネス習慣などの理解を深め、真のコミュニケーション能力の開発、向上を図ることを目標としています。

●概要

- 4週間合宿 (26泊27日)・200時間を超える授業と課外活動
- 年間11回開催 (1983年は第134期～144期)
- 能力別4クラス編成 (夏期は5クラス予定)
- 各回定員32名 (夏期は若干増加)
- 1クラス定員6～9名 (3名の男女講師が専任指導)
- 講師対受講者比 (1人:2.5人)

●受講資格

高校卒業程度の基礎英語力を持つ18才以上の方で英語習得を熱心に希望され、4週間の合宿生活に耐えうる心身ともに健康な方。

Daily Program Schedule

8:00～8:30 : Breakfast

MORNING

8:30～12:10 : General Conversational English (Synthetic)

このクラスでは英会話の基礎的な能力(文法、発音、スピード、リスニング等)を養うため、視覚教材、テープ、L.L. テキスト等を効果的に使って授業が進められます。特に誤りの訂正、明解な表現能力、正確な意志伝達能力の向上に主眼が置かれると同時に、丁寧語や形式的な語句等、状況に応じた適切な表現能力の開発を図ります。
初級クラスでは、LIOJ 受講後の継続的な英語学習の為に必要な基礎知識の習得に重点を置き、中級以上のクラスでは基礎知識の復習、よりスムーズな会話能力と聴解力の向上に重点が置かれます。



12:10～1:10 : Lunch with instructors, free conversation

AFTERNOON

1:10～3:30 : General Conversational English (Analytic)

このクラスではモーニングクラスを更に一歩進め、より広範囲な状況下での会話能力の向上に重点が置かれます。
スピーチ、要約、映画、ディクテーション、テープ等を通して、機能的な英語力と、複雑多岐な、そして、より自然な英会話の理解力を養成します。そのために、文法等の指導はさけ、全体の内容を把握する能力の開発を図ります。



3:30～4:30 : Free time, sometimes used for individual conferences with instructors to go over assignments.

EVENING

4:30～6:00 : Business/Technical Communication Skills

このクラスは実践的なビジネス英語の習得と国際ビジネス社会で必要とされる知識と教養を身につける課程です。レベルにより異なりますが以下にあげたような事柄に重点がおかれます。
1)プレゼンテーション——個々の職務やプロジェクトに関する口述発表を行い、講師からはその事前・事後に論旨、論法及び発表方法に対して細かな指導がなされ、発表能力の開発と向上を図ります。
2)会議などで用いられる丁寧な表現方法や、電話、アポイントメントの取り方。
3)業務等で必要な複雑な内容、考えを正確に伝えるための言いまわしや留意点。
4)日本人が得意な数、及びグラフ等、量に関する英語の表現方法。



6:00～7:00 : Dinner with instructors, free conversation.

7:00～8:30 : Business/Technical Communication Skills (continued)

8:30～11:00 : Preparation time; social time for non-classroom free conversation with instructors; and evening programs.

LEVEL & EVALUATION

Initial Evaluation (コース開始時)

- Oral Interview (口頭面接)
- Placement Test (筆記試験)
- Listening Test (聴解力テスト)

LIOJ では、Initial Evaluation に基づいて受講者を能力別に4クラスに分け、それぞれのグループを6段階の中でレベル分けします。



インタビュー



プレACEMENTテスト

LEVEL					
Basic	Upper Basic	Lower Intermediate	Intermediate	Upper Intermediate	Advanced
<p>◆対象者 このコースは、英語の基本については学んだものの、相当期間英語学習から離れていたため再度基本についての学習を要し、さらに一般的なビジネス英語の習得と、外国社会について理解を深める必要があるビジネスマンを対象にして進められます。</p> <p>◆指導ポイント 日常生活でよく使われる基本的な言いまわし、文法、ボキャブラリー等を学習し、それらを合宿生活の中で実践していただくこと、英語によるコミュニケーションの実態をつかむことに重点が置かれます。</p>	<p>◆対象者 このコースは、優れた英語の知識はあるが、それを会話力として実践の場で応用していくことに難があると共に国際ビジネスマンの基本的なルールや外国社会・文化・習慣をより深く理解する必要があるビジネスマンを対象にして進められます。</p> <p>◆指導ポイント 日常生活や仕事上で、様々な対応を求められる外国人とのコミュニケーションを自然な形に近づけると共に、英語による一般的な「問題解決能力」の開発を図ります。</p>	<p>◆対象者 このコースは、非常に優れた英語の知識がありかつ英会話についても相当の実力があるが、さらに国際ビジネス社会の実際について、高度な理解と実践訓練を必要とされているビジネスマンを対象にして進められます。</p> <p>◆指導ポイント 英語をより正確にしっかりと身につけるため厳しい矯正が加えられる他、業務上で直面する複雑困難な状況を打開・達成するために不可欠な英語による高度な問題解決能力の開発を図ります。</p>			
GOAL					
<p>基本的な英語力を身につけると共に、それを日常生活の中で英語として生かすことができ、一般的なビジネスの場において簡単な意志伝達を行うことができるようになる。</p> <p>※なお、このレベルに該当する受講者で、課程終了後直ちに複雑な海外業務に赴任が決まっている場合は本課程を再度、連続か又は隔月で2期以上受講することをおすすめします。</p>		<p>日常的な英会話はほとんど不自由なく話すことができ、ビジネスの場においても相当の意志伝達ができる英語力を身につける。又、海外での長期滞在生活にも充分適応できる知識と経験を得る。</p>		<p>本格的国際ビジネスマンとして必要な知識と国際的視野を身につけ、ビジネス上の問題については外国ビジネスマンとほとんど対等に話し合うことができるような交渉力の増強と共に海外生活において相当の交際を行うに必要な知識と経験を得る。</p>	

Final Evaluation (コース終了時)

- Listening Test (聴解力テスト)
- Follow-up guidance 各回最後の週に Follow-up 学習のための具体的な Suggestion を行います。
- Evaluation Report (総合評価表)

講座終了後、個人別に能力評価と今後の学習目標等についての Evaluation Report を行い、派遣企業に送付されます。この Report は「コミュニケーション能力」の総合評価で、単に受講者の英語能力の評価だけでなく、国内及び海外で外国人とどの程度英語でコミュニケーションでき、どの程度の業務を英語で行えるかを示します。と同時に、担当講師3名から受講者の進歩の度合、長所、弱点、今後の学習方法等について所見が述べられます。



電話を使つての訓練



授業風景



個別指導



開講日オリエンテーション

食事風景



講師との外食 ここでももちろん English Only

土曜プログラム
バレーボール



カクテルパーティー



修了証書授与

4週間の合宿生活と受講者の自主活動について

LIOJの合宿プログラムがもっているもう一つの大きな特色として、受講者はEnglish Onlyの生活を通して「英語社会」の実際をさまざまな場面で体験的に学習するということがあり、そのため各種の課外活動に参加します。

Meals with Instructors

合宿生活の中でも特に大きなウエイトをしめるのが毎日の食事時間です。食堂では講師を囲んで4~5人ずつが1つのテーブルについて食事をとります。ここではクラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルな会話能力を会得するのに最適な時間となります。

Cocktail Party and Evening Programs

規定授業以外にも「Happy Hour」、「Cocktail Party」、「Magic Show」、「Tea & Talk」、「Slide Show」等々、各回若干異なりますが、多彩な企画が毎週用意されています。この時間に講師と受講生という関係をはなれ、一個人として接することにより、外国人とのコミュニケーションをよりスムーズにする能力を体得し、自信と相互理解を深める機会を与えます。

Thursday Evening Lectures

毎週木曜日、7:00p.m.~8:30p.m.にLIOJまたは外部からの講師による特別講演を行います。テーマは主に国際関係論で、受講者が海

外で仕事をするうえで必要とされる事柄についての知識と感覚を身につける事をねらいとします。

Saturday Morning Programs

第一週と第3週の土曜日の午前中に行われるプログラムで、スポーツ、映画観賞等、よりリラックスした雰囲気の中で週末のひとときを過ごすほか、ディレクターから与えられた課題の企画、製作にもあたられます。また最終日には「フェアウェルパーティー」が開かれ、期間中クラス単位で製作した課題の発表なども行われます。

一方受講者には、以上あげた規定授業と課外活動以外の時間をどう充実させるか自分自身で考えてオーガナイズしていくことが義務づけられます。

これは受身の姿勢でない主体性をもった自発的な考えを「英語」で計画・実行することで、英語社会で生きる上に不可欠な「自立心」「独立心」を養うためです。

たとえばグループでパーティーを計画し講師を招いたり、テーマを決めて自主研究し、卒業時に発表したり等何でもよいのです。

LIOJで苦勞して何かを成し遂げた満足感はそのまゝ外国で生きるのびる「自信」につながることでしよう。

LIOJはそうした受講者の自主活動が120%充実したものと期待いたします。

LIOJ 場所および施設 LOCATION & FACILITIES



LIOJ全景

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、大島、伊豆、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。冷暖房を完備した200名の宿泊施設のほか、会議室、映写設備も備えております。宿泊室はすべて洋室(バス・トイレ付2~4名の相部屋)であるほかLIOJ専用の教室、食堂、ラウンジ、図書室等、期間中受講者の方になるべく海外生活に近い雰囲気の中で受講していただけるよう配慮されております。また各種スポーツ用具の無料貸出し、コインランドリー、L.L.システム、VTR装置等充実した設備が用意されております。

- ◆交通の便
- | | | | |
|------|--------|---------|----|
| 新幹線 | 小田原駅下車 | 駅からタクシー | 5分 |
| 東海道線 | 小田原駅 | 駅からタクシー | 5分 |
| 小田急線 | 小田原駅 | 駅からタクシー | 5分 |
- 東京駅から新幹線こだままで 42分
 - 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
 - 名古屋駅から新幹線こだままで 2時間10分



Reading Room



フェアウェルディナー



宿泊室



スチューデント
ラウンジでの歓談



修了証書を手にした歓び

LIOJ

過去に受講された企業等一覧

PARTICIPATING FIRMS

- 建設、鉄鋼、非鉄金属、輸送用機器関係
- 旭ブレコン
- 関東建材工事
- 熊谷組
- 甲陽建設工業
- 共栄工事
- 日立プラント建設
- 日本建設コンサルタント
- 佐伯建設工業
- 清水建設
- 三井不動産建設
- 竹中工務店
- 飛島建設
- 東海電気工事
- 小野田エンジニアリング
- 東レエンジニアリング
- 小田原エンジニアリング
- 池貝鉄工
- 石川鉄工
- 佐藤鉄工
- 木村刃物製作所
- ミノノ刃物製作所
- 日本バルジ工業
- 新日本製鐵
- 日本鋼管
- 日本金属
- 日本軽金属
- 日本金属工業
- 日本冶金工業
- 日鉄建設工業
- 三菱金属
- 新東プレター
- 平河電線
- 日本鋳業
- 日立造船
- 三菱重工業
- 川崎重工業
- 三菱自動車工業
- 三井造船
- 来島どつく
- 寺岡造船
- 日本ドーパー

- 日本鋳鋼
- ノーリツ鋼機
- 住友重機械工業
- 石川島クレーンメンテナンス
- アイシン・ワーナー
- 日本総合建築事務所
- 総合設備コンサルタント
- 日本飛行機
- 日本ファーンズ工業
- 日本国産開発
- トヨタ自動車工業
- いすゞ自動車
- 鈴木自動車工業
- ヤスキ産業
- 日本ケーブルシステム
- 住友金属鉱山
- 国際計装
- 千代田計装
- 日本テトラパック
- リョービ
- 東邦化工建設
- ユナイテッド・エンジニアリング
- 神戸製鋼所
- 新潟鉄工所
- 住友金属工業
- 住友石炭鉱業
- 川崎製鉄
- 千代田化工建設
- 小松フォークリフト
- オー・エス・ジー
- 日本エヤーブレーキ
- 五洋建設
- 日本プラント協力
- 新日軽住宅建材
- 千代田インターナショナル
- 日本通信建設
- 大協エンジニアリング
- 大林組
- 大成建設

- 機械、電気、精密機器関係
- 小松製作所
- 奈良機械製作所

- 日本ダンフォス
- 日本空圧機工業
- 日本エス・シー・アール
- 昭和空圧機工業
- 油研工業
- アンテナ技研
- アルプス電気
- 富士通
- 開発電子技術
- KDD
- コパル精密
- 明電舎
- 松下電産
- 松下電装機器
- 三菱電機
- 日本IBM
- 日本アビオロニクス
- 日本電装
- 日本インター
- ナショナル整流器
- 日本電子
- ソニー
- 三和エレクトロニクス
- 山水電気
- 山水音響
- 立石電機
- 東大無線
- 安川電機製作所
- 横河電機製作所
- 富士電機製作所
- 日立電子
- 田辺化工機
- 小松インターナショナル製造
- 河口湖精密
- 富士通テン
- 豊田自動織機製作所
- ソニーマグネトロダクツ
- バイオニア
- 三和テック
- 小松電子金属
- コパル
- 東洋製缶

- 沖電気工業
- 東京電力
- 九州電力
- 電源開発
- 日本通信協力
- 三和大栄電気興業
- 鐘通工業
- 新電元工業
- サンディック・ジャパン
- 東海電化工業
- シクタン
- 野村精機製作所
- 湯浅電池
- 北沢バルブ
- アイワ
- 第一精工
- 平田機工
- 日本ロシユ
- 日本電気硝子
- フィリップス工業振興
- 日本フィリップス
- 東西電機
- ソニー幸田
- 日本シューリング
- 日本ビクター
- 東洋キャリア工業
- 東洋通信機
- 日本ムグ
- 武蔵精密工業
- 日本マイクモーター
- フジツク
- 日本無線
- 検測器
- 安立電気
- 日本エアーフィルター
- 旭化成工業
- 大同毛織
- 日清紡績
- 大東紡織
- 三菱レーヨン
- 帝人

- 繊維、バルブ、紙、化学、石油、ゴム関係
- 旭化成工業
- 大同毛織
- 日清紡績
- 大東紡織
- 三菱レーヨン
- 帝人

- 東レ
- 東邦レイヨン
- 東邦ベスロン
- 鐘紡
- 王子製紙
- 大王製紙
- 本州製紙
- 十條キンパリー
- 北村バルブ
- ナショナル木材工業
- 山陽スコット
- 永井衣料
- バイエル ジャパン
- 台糖ファイザー
- 日本プロクター&ギャンブル
- サン・アロー化学
- 日本ユニカー
- 住友スリーエム
- 日本アスベスト
- 日本ヴィックス
- ローズ・ブーラン・ジャパン
- ヘキスト・ジャパン
- 日東化学
- 横浜ゴム
- アイ・シー・アイ・ファーマ
- リーバイストラウス日本支社
- 山宗化学
- 大協石油
- 丸善石油
- 昭和石油
- マイルス三共
- 中外製薬
- 日本オイルエンジニアリング
- スミスクライン藤沢
- サンポールクロックス
- ウインスロップ・ラボラトリー
- ケミカル
- 第一勧業銀行
- 平和相互銀行
- 西日本相互銀行
- 日本長期信用銀行

- ギャンブル・サンホーム
- アンネ
- 北陸製薬
- ジョンソンエンドジョンソン
- P & G 石鹼
- P & G サンホーム工業
- 東洋プロダクツ
- 三共ベガス
- 日本オイルシール工業
- 宇部アンモニア工業
- 安徳皮革化成所
- ジョンソン
- デュボンファーマーイースト
- ブリジストンベカルト
- スチールコード
- 巴川製紙所
- ダウケミカル日本
- 日本特殊農業製造
- トール・シリコン
- 山種証券
- 和光証券
- 日本勧業角丸証券
- ナショナル田林証券
- アーンスト&ウーニ
- デロイト
- ハスキング&セルズ
- 監査法人サンワ事務所
- ビートマウウィック
- ミッチェル
- ブライスウオーターハウス
- ライブラント会計事務所
- 辰己共同会計事務所
- 鈴木豊会計事務所
- 扶桑監査法人
- 昭和監査法人
- 九段法律会計事務所
- 日本生命保険
- 官公庁、大学、研究所、病院関係
- 電電公社
- 川崎市役所
- 専売公社
- 大蔵省
- 郵政省
- 運輸省航空局
- 国鉄
- 慶応義塾大学
- 長崎大学商工短大部
- 日本大学医学部
- 東京医科大学

- 日本開発銀行
- 協和銀行
- 三和銀行
- 太陽神戸銀行
- 三菱信託銀行
- 三井信託銀行
- 安田信託銀行
- 住友信託銀行
- 中央信託銀行
- 明治生命保険
- 住友生命保険
- 第一生命保険
- 東京海上火災保険
- 大正海上火災保険
- 大成海上火災保険
- 第一証券
- 三洋証券
- 新日本証券
- 山一証券
- 河上病院
- 大阪府立貿易専門学校
- 東京理科大学
- 東京歯科大学
- 日本国際交流センター
- 東北大学医学部附属病院
- 豊橋技術大学
- 海外電力調査会
- 商業、サービスク関係その他
- エービーシー商会
- アイワ商事
- 蝶理
- エクマン商会
- 福本
- 富士塗油器
- ヒロカメ商会
- 汎米貿易
- 光南通商
- 北尾書籍貿易
- 教文社
- 松坂屋
- 日本紙パルプ商事
- オール商会
- オールドパー
- OSG販売
- パレス・エンタープライズ
- ラッキー商会
- ロイヤルインター
- オーシャンライズ
- さいか屋町田店
- 泉燃糸

- 東京工業大学
- 早稲田大学
- フランシスコ修道会本部
- 国立精神衛生研究所
- 動力炉核燃料開発事業団
- 医道の日本社
- 日通総合研究所
- 日本リサーチセンター
- 日本海事検定協会
- 日本能率協会
- 日本機械学会
- 日本軽金属総合研究所
- 野村総合研究所
- 鈴木特許事務所
- 幕張医院
- 日本大学病院
- 千葉大学附属病院
- 弘前大学医学部
- 法政大学
- 河上病院
- 大阪府立貿易専門学校
- 東京理科大学
- 東京歯科大学
- 日本国際交流センター
- 東北大学医学部附属病院
- 豊橋技術大学
- 海外電力調査会
- 商業、サービスク関係その他
- エービーシー商会
- アイワ商事
- 蝶理
- エクマン商会
- 福本
- 富士塗油器
- ヒロカメ商会
- 汎米貿易
- 光南通商
- 北尾書籍貿易
- 教文社
- 松坂屋
- 日本紙パルプ商事
- オール商会
- オールドパー
- OSG販売
- パレス・エンタープライズ
- ラッキー商会
- ロイヤルインター
- オーシャンライズ
- さいか屋町田店
- 泉燃糸

- 三・エス
- 三洋貿易
- トヨタ自動車販売
- 東京三菱自動車販売
- 養命酒製造
- 電通
- 博報堂
- 蓬来閣食堂
- 国際トラベルサービス
- 朝日新聞東京本社
- 日本テレビ放送網
- テレビ朝日
- 日本交通公社
- アキタ
- 旭松豆腐
- アジア海運
- 米海軍厚木基地
- 航空機修理部
- BOISE
- CASCADE CORP
- ブッシュシミオール
- 朝比奈法律事務所
- ビューラミマ
- エアリフト
- シメメンズ
- FAR EAST INC.
- メディカル・システムズ
- 日本オリベッティ
- トミー
- 高久
- 日本シーカーアール
- 藤井商会
- プリマム
- グレイ大広
- 松本倉庫
- 三川
- 松永酒造
- 三成物産
- J.ウォルター・トンプソン
- ホテル華陽館
- 日本スタンダー
- ミリオン商事
- 鳳設計事務所
- らく楽
- 大阪パッキング製造所

- 三洋出版貿易
- タカキペーカリー
- トヨペットサービスセンター
- シーメンズ
- サン・ヴァレイ
- 国際ヨーホー
- 中川デザイン研究所
- 世界救世教
- 山下新日本汽船
- 昭和郵船
- マン・パワ
- 東旺出版
- 長野コココーラボトリング
- 馬場大光商船
- オリエンタルモーター
- 日本経営者団体連盟
- 日本生活協同組合連合会
- 日本鉄鋼産業
- 労働組合連合会
- 後楽園スタジアム
- 三浦印刷
- につかつ
- 味の素
- シーメンズ・トラベル
- G.D.SEALE
- メディカル・システムズ
- 日本オリベッティ
- トミー
- 高久
- 日本シーカーアール
- 藤井商会
- プリマム
- グレイ大広
- 松本倉庫
- 三川
- 松永酒造
- 三成物産
- J.ウォルター・トンプソン
- ホテル華陽館
- 日本スタンダー
- ミリオン商事
- 鳳設計事務所
- らく楽
- 大阪パッキング製造所

以上437団体、2,760名の受講者があり、それぞれ内外の第一線で御活躍中です。

利用企業の声

海外派遣予定者はもちろん、あらゆる層の社員に実践的な英会話の修得と精神的な自信を植え付けるのに効果をあげている。と同時に、海外勤務経験者のブラッシュアップにもLIOJを利用している。

清水建設株式会社 人事部 研修課長

当社では、国際化研修の一環として、主として緊急に英語力養成が必要な人材をLIOJへ派遣している。卒業生の中には、海外へ派遣される者も数多くおり、それぞれに大きな成果を上げている。

新日本製鐵株式会社 能力開発室

LIOJの合宿による集中訓練は『学ぶ』『習う』だけでなく、生活の中で『使う』ことが求められる。このことは英語を使う生活のすべての面での能力向上につながるため、当社としては海外派遣予定者の訓練に活用している。

KDD学園 研修部 第2研修課長

当社では海外要員育成教育システムの中にLIOJを組み入れているが教師陣の質の高さとバラエティに富んだカリキュラムは新人・中堅を問わず好評である。

富士通株式会社 教育訓練部教育訓練課長

ある程度の基礎力があり、あと少くとも英語を話せるようにtake offできるレベルに到達させるには、強制的かつ集中的な体験学習が効果的です。当社ではこのような考え方で、訓練後すぐに活用するチャンスが予定されている者にしぼってLIOJへ派遣しています。

ブリヂストンタイヤ株式会社 人事部 研修課長

海外で執務するにあたっては、単に語学力をマスターするだけでなく、派遣国の文化風習をも体得することが必要である。この点において、LIOJの合宿研修はグローバルな人材育成に役立つものと思う。

住友生命保険相互会社 教育部 教育第2課長

大きな多国籍企業であるため、グローバルな社内コミュニケーションの手段である英語を読み、書き、聞き、話すことに早く習熟し、国際的感覚を身につけることは不可欠の要件。LIOJで新人を教育して頂くことはその第1歩と考え、毎年お願いしている。

ダウ・ケミカル日本株式会社 製品開発研究所 総務部長

6年間の受講者状況

(毎年11回開講
1982年は第10回現在)

	1977~ 1978年	1979~ 1980年	1981~ 1982年	合計	割合
20代	190	202	229	621	36.6
30代	201	307	291	799	47.2
40代	65	63	102	230	13.6
50才以上	16	14	13	43	2.6
合計	472	586	635	1,693	100.0

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式を採用する語学教育・研究機関として昭和43年3月設立。短期間で生きた英語の習得と外国文化の理解を図るとともに国籍を越えた真のヒューマンリレーションを体得していただくため英語オンリーの徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。

1983年開講予定

- 企業人向け《合宿》英語特訓課程（4週間）年間11回
- 一週間合宿コース（過去受講者のためのfollow-upプログラム）
第Ⅰ期 2月13日～2月19日・第Ⅱ期 5月15日～5月21日
- 国際ビジネスコース〔East-West Center（ハワイ）協催〕 9月11日～9月17日
- Testing & Evaluation Services
- 夏期大学・短大生向け《合宿》英語特訓課程（3週間）
第Ⅰ期 7月18日～8月6日・第Ⅱ期 8月15日～9月3日
- 英語教育者のためのワークショップ（1週間） 8月7日～8月13日
- 通学コース 春・夏・秋・冬（各10週間）年間4期

また、語学教育と文化コミュニケーションの機関誌「クロスカルンツ」の発行、新しい教材の製作や教授法の開発、在日外人英語教師のための「TEFL会議」の開催、東南アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。



● LIOJ本部事務局「企業」係

神奈川県小田原市城山 4-14-1 〒250
アジアセンター内 TEL:0465-23-1677

● LIOJ東京オフィス「企業」係

東京都港区南麻布 4-9-17 〒106
お問合せのTELは本部事務局まで。